

しべちや
標茶地区活性化計画（北海道標茶町）

【取組概要】

- ・事業期間：H25～27年度
- ・事業実施主体：標茶町
- ・事業費：約1.1億円（うち国費1/2）
- ・事業内容：宿泊研修施設整備、
公共施設耐震補強



施設HP



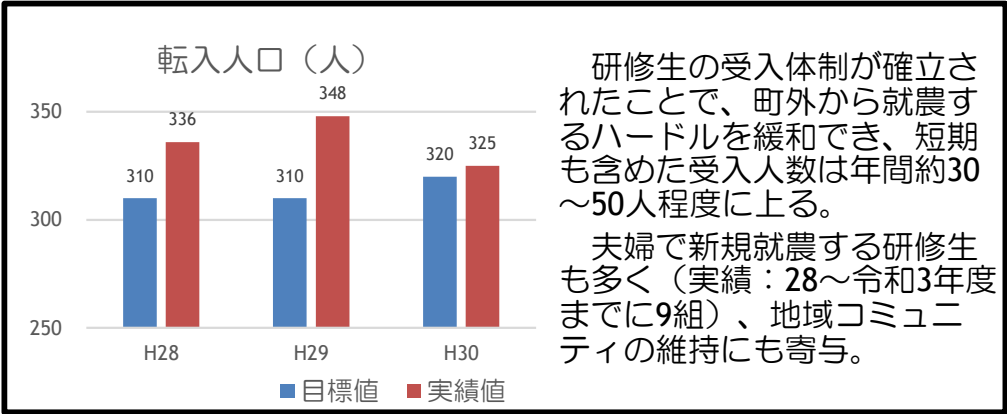
搾乳体験をする研修生

取組のきっかけ

新規就農希望者に対し資金面の補助だけでは地域のコミュニティの中で安心して定住できることにつながらない課題があったため、新規就農希望者が安心して農業体験を開始することができる施設、災害時に安全を確保できる施設の両方が必要となった。

標茶町担い手育成協議会を立ち上げ、研修相談、研修生のケア、研修プログラムの検討、就農に向けての情報収集を行う他、就農コーディネーターを配置し、研修生が孤立し悩まないような体制を構築。

公共施設は耐震化を行い、指定避難所としての機能を有し、町の強靱化計画にも位置付けた。



ひがしたに
東谷地区活性化計画（富山県立山町）

【取組概要】

- ・事業期間：H27～29年度
- ・事業実施主体：立山町
- ・事業費：約6百万円（うち国費1/2）
- ・事業内容：農山漁村定住促進施設



町の定住
支援情報



空き家の改修

取組のきっかけ

地域の高齢化や若者の流出、後継者不足により地域の農林業の存続が危惧されたため、農林業に従事する若者等の受入に向けて定住促進施設を整備し、定住人口の確保を図ることとした。

東谷地区の住民が主体となって地域協議会を設立。話し合いを進め、新たな担い手の受け入れる環境づくりを検討。

地域内にある空き家の所有者と長期の建物賃貸借契約を締結し、定住促進施設の改修を実施。新たな担い手の定住を促進するため、地域おこし協力隊員を募集し、地域外から農業女子や自伐型林業者を受け入れた。

